



2020 年 5 月 24 日 (日)

小松川区民館

注意

本大会で使用する問題のセットは、以下の 4 種類があります。

上坂 上坂が作成した問題のみ使用。

徳久 徳久が作成した問題のみ使用。

Hybrid 上坂・徳久両者の問題をランダムに混ぜて使用。

- Hybrid の問題 1 セット中、上坂作成の問題と徳久作成の問題の数の差は 5 問以内になるようにします。

共通予備 判定時に行われる「1〇1×のサドンデス」および、問題の補充が必要になった場合に使用します。

- これについては、上坂・徳久作成問題の構成比は公開しません。

Quick Description

詳しい内容については各ラウンドのルール説明を御覧ください。

1st Round 100 問筆記（うち順位決定問題 20 問）+ 1 問近似値。50 名が 2nd Round 進出。

2nd Round 10 人→4 人のアドバンテージつき 4〇4 休を 5 組実施。問題は Hybrid。各組 35 問限定。

3rd Round 5 人→2 人の早押しクイズを 4 組実施。以下 2 ルールを、上坂・徳久のそれぞれの問題で実施。各組 20 分 or 75 問限定。

10〇10× (**Hybrid ver.**) 連続誤答で 2× となる。

10 by 10 正解 pt が 0pts, 誤答 pt が 10pts からスタートし、正解すると正解 pt が +1pt, 誤答すると誤答 pt が -1pt。正解と誤答の積が 100 以上となれば勝ち抜け。

Extra Round 準決勝進出者 8 名以外の全参加者から 1 名が勝ち抜け。

1st step 4 問 1 セットで筆記問題出題し、2 問以上正解すると次のセットに進める。8 名以下になるまで行い、残った参加者が Final step 進出。

Final step 5 問正解で勝ち抜け。最初の誤答で 5 休、次の誤答で失格。40 問限定。勝ち抜けがない場合は復活はなし。問題は Hybrid。

Semifinal 3 セット制のサバイバルクイズ。各セット 20pts スタート。正解で自身が +1pt, 他参加者が -1pt。誤答はセット内 n 回目で $-n$ pts。各セット 1 名勝ち抜け。1 セットは 10 分 or 50 問限定。問題はセット単位で上坂, 徳久, Hybrid を 1 回ずつ使用。

Final 3 セット制早押しクイズ。

Phase 1 & 2 正解 +1pt, 誤答は他の参加者が +1pt。誰かが 7pts に到達するとその Phase は終わり。Phase 1 は上坂, Phase 2 は徳久。

Final Phase Phase 1 と 2 の合計ポイントを初期ポイントとするサバイバルクイズ。使用問題は Hybrid。正解すると他の参加者 -1pt, 誤答すると自身のみ -1pt。

1st Round: Pen of Hybrid

- 100 問の筆記問題と 1 問の近似値問題からなる筆記クイズです。
- 制限時間は 20 分です。
- 100 問のうち、問題番号が 5 の倍数の問題（5 問目、10 問目、15 問目、…、100 問目）は「順位決定問題」となります。
 - 順位決定問題に関しては解答用紙の解答欄が灰色になっています。
- 前半 50 問は上坂の問題、後半 50 問は徳久の問題になります。
- 以下の基準で順位を決定します。
 - (1) 筆記問題の正解数が多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、順位決定問題 20 問の正解数が多いほうが上位。
 - (3) (1)(2) が同じ場合、近似値問題の正解からの誤差が小さい方が上位。
 - (4) (1)～(3) がすべて同じ場合、エントリーが早い方が上位。
- 1 位から 50 位までの 50 名が 2nd Round に進出となります。

2nd Round: Suspend of Hybrid

- 1st Round の 1 位～50 位の 50 名を、10 名ずつ 5 組に分けて行う早押しクイズです。
 - 使用する問題はすべて「Hybrid」です。
 - 組分けは以下の表の通り行います。（表の中の数字は 1st Round の順位を指す。）

Group A	1	6	11	16	21	26	31	36	41	46
Group B	2	7	12	17	22	27	32	37	42	47
Group C	3	8	13	18	23	28	33	38	43	48
Group D	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49
Group E	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

- 各グループごとの初期得点は以下の通りです。
 - グループの最上位 (1 位～5 位) は 2pts からスタート。
 - グループ内の 2 位・3 位 (6 位～15 位) は 1pt からスタート。
 - それ以外の参加者は 0pts からスタート。
- 正解すると 1pt 加算され、4pts で勝ち抜けとなります。
- 誤答した場合、次の問題以降 4 問の間解答権を剥奪します。
- グループの終了条件は以下のいずれかが満たされた場合とします。
 - (1) 4 人の勝ち抜けが出た。
 - (2) 35 問が経過した。
- 終了時に 4 人の勝ち抜けが出ていない場合、以下の順序に基づいて上位から残りの勝ち抜けを決定します。
 - (1) ポイントが多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、誤答の少ないほうが上位。
 - (3) (1)(2) が同じ場合、1st Round の順位が高い方が上位。

3rd Round: Choice of Hybrid

- 2nd Round を通過した 20 人を、5 人ずつ 4 組に分けて早押しクイズを行います。
- 組ごとに異なるルールで進行します。また、4 組中 2 組の問題は「上坂」、他 2 組の問題は「徳久」となります。
- 参加する組の決定は次のように行います。
 - まず、参加者 20 名に優先順位を与えます。優先順位の決め方は次の通りです。
 - (1) 2nd Round での勝ち抜け順位が高い方が上位。
 - (2) 勝ち抜け順位が同じ場合、1st Round の順位が高いほうが上位。

- 優先順位 1 位の方から順番に組を選択していきます。
- 5 名が埋まった組はそれ以降選択することができません。
- 選択できる組が 1 つになった場合、それ以降の参加者はすべてその組に強制参加となります。
- なお、事前に参加者 20 名に、「もし自由に組を選択できるならどの組を選ぶか」というアンケートを取り、その結果は名前込みで組選択の前に公開します。もちろん、そのアンケートとは違う組を選択しても問題ありません。
- どの組でも終了条件は以下の少なくとも 1 つが満たされた場合とします。
 - (1) 2 名が勝ち抜ける。
 - (2) 20 分が経過する。
 - (3) 75 問が経過する。
- 勝ち抜けが 1 名以下の状態で終了した場合、各組ごとの順位基準に従って、(勝ち抜けた参加者も含めて) 上位 2 人が準決勝に進出します。

■ Group A: 10 ○ 10× (Hybrid ver.) (出題: 上坂)

- 10 問正解すると勝ち抜けです。
- 誤答した場合、× が 1 つつきます。
 - ただし、連続誤答、つまり、1 度誤答したあと、自身の正解を挟むことなく 2 回めの誤答をした場合、× は 2 つつきます。
- 10 個以上の × がつくと失格となります。
- この組の順位は以下の通り決定します。
 - (1) 正解数が多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、誤答数の少ないほうが上位。
 - (3) (1)(2) が同じ場合、1 ○ 1× のサドンデス。

■ Group B: 10 by 10 (出題: 上坂)

- 参加者は全員正解ポイント 0pts、誤答ポイント 10pts からスタートします。
- 正解すると正解ポイントが +1pt されます。
- 誤答すると誤答ポイントが -1pt されます。
- 正解ポイントと誤答ポイントの積が 100pts 以上に到達すると勝ち抜けです。
- 誤答ポイントが 0pts になると失格となります。
- この組の順位は以下の通り決定します。
 - (1) ポイントが多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、1 ○ 1× のサドンデス。

■ Group C: 10 ○ 10× (Hybrid ver.) (出題: 徳久)

Group A と同一ルールで行います。

■ Group D: 10 by 10 (出題: 徳久)

Group B と同一ルールで行います。

Extra Round: Gate of Hybrid

- 準決勝進出者以外の全参加者が参加する最終予選です。このラウンドは 2 ステップからなります。

1st step

- 準決勝に進出していない全参加者によるサバイバル筆記クイズです。
- この筆記クイズは、4 問を 1 セットとし、4 問の問題を連続出題します。

- 最初の 2 問は上坂問題、次の 2 問は徳久問題となります。
- 4 問中 2 問以上正解できれば、次のセットに参加することができます。正解数が 1 問以下だとその時点で失格となります。
- これを繰り返し、残っている人数が 8 名以下となった時点で **1st step** を終了します。
 - なお、あるセットで参加者全員が失格となった場合、final step は行わず、Semifinal は 8 名で行います。

Final step

- 2nd step を勝ち抜けた最大 8 名が参加する早押しクイズです。
- 5 問正解で **Extra Round** 勝利となります。
- 誤答した場合、
 - 最初の誤答では次の問題以降 5 問の間解答権を剥奪します。
 - 次の誤答では失格となります。
- 次の条件が満たされた場合、そのセットは終了となります。
 - (1) 40 問経過した。(2) 1 名が勝利した。
- 40 問経過でセット終了になり、勝者が決まらない場合は、Extra Round は勝者なしとします。

Semifinal: Descent of Hybrid

- 3rd Round を勝ち抜けた 8 名と、Extra Round の勝者最大 1 名が参加する 3 セット制の早押しクイズです。
- 開始前に、各セットで使用する問題をくじ引きで決定します。
 - 各セットでは、「Hybrid」「上坂」「徳久」を 1 回ずつ使用します。
- 各セットでは、参加者は **20pts** を持った状態でスタートします。
- 正解すると、自身のポイントが **+1pt** され、他の参加者のポイントが **-1pt** されます。
- 誤答した場合、セット内 n 回目の誤答の場合 $-(n+1)$ pts されます。
- **0pts** 以下になった時点でそのセットの解答権を剥奪します。
- 解答権を持つ参加者が 1 人になった時点で、その参加者がそのセットでの勝ち抜けとなります。
- 各セットは以下の条件のうち少なくとも 1 つが満たされた時点で終了となります。
 - (1) 勝ち抜けが出た。(2) 10 分経過した。(3) 45 問経過した。
- 勝ち抜けが出ずにそのセットが終了した場合、その時点でポイントが最も高い 1 名が勝ち抜けとなります。最高ポイントの参加者が 2 名以上でいる場合、その参加者の間で 1 ○ 1× のサドンデスを行います。

Final: Shuttle of Hybrid

- Phase 1, Phase 2, Final Phase の 3 つのフェーズからなる早押しクイズです。
- 使用する問題は、**Phase 1** は上坂、**Phase 2** は徳久、**Final Phase** は Hybrid です。
- Phase 1 と Phase 2 は以下のルールで行います。
 - 正解すると **+1pt** となります。
 - 誤答は他の参加者が **+1pt** となります。
 - 参加者の誰かが **7pts** に到達した時点で、その **Phase** は終了となります。
- **Final Phase** は、**Phase 1** と **Phase 2** のポイントの合計を初期ポイントとし、次のルールで行います。
 - 正解すると、他 2 名のポイントが **-1pt** となります。
 - 誤答すると、自身のみポイントが **-1pt** となります。
 - **0pt** になると回答権が剥奪されます。
 - 最後まで回答権が残っていた参加者が優勝となります。

解答に関するルール

人名

- 次のものは正解として認められます。
 - 日本名・韓国名・中国名以外の名前の人物の苗字・ラストネームのみ
 - 一般的に認知される愛称・芸名・選手の登録名・四股名
 - 出生名・幼名
 - 旧姓
- 日本名・韓国名・中国名の人物については、原則としてフルネームでの解答を要求します。
- 日本名・韓国名・中国名以外の名前をもつ人物の場合でも、苗字・ラストネームだけでは、同分野の他の人物と区別がつかない場合、再解答(「もう一度」)を要求します。
- 名前・ファーストネームのみはほとんど正解とは認められません。ただし、「ダンテ」や「ラファエロ」などのように、一般的にファーストネームで認知される人名は、ファーストネームのみでの解答を認めます。
- 複合姓については、一般的に認知されている名称で解答すれば正解とします。
- 何らかの創作作品や神話における空想上の人物については、その作品・神話において言及される名前だけで正解とします。

作品名

- 作品名は、原則として正確に答えない限り正解とは認めません。
- その作品名が外国語の翻訳である場合、翻訳による作品名の違いは出来る限り別解として列挙し、正解とします。

外国語の固有名詞

言語の違いによる表記ゆれは正解として認めます。

早押しクイズのルール

- ボタンを点けて解答権を得ることできるのは、問読みが「問題」と言って以降です。それ以前にボタンが点灯した場合、解答権はないとみなします。
- ボタンを押してから 3 カウント以内に解答してください。3 カウント以内に解答しなければ誤答とみなします。
- 問題を読み切ってから 3 カウント以内に誰もボタンを点けない場合、その問題はスルーとなります。
- 3 カウントが終わったことによる誤答ブザーと解答もしくはボタンの点灯が同時に起こった場合、その解答および解答権は無効になります。
- 解答が聞き取れなかった場合は、「聞こえませんでした」といいますので、その場合は前に言ったことと同じ言葉をもう一度はっきりと発声してください。
- 回答が正解とするには不完全もしくは曖昧さが残るものであった場合、「もう一度」と宣言しますので、再度 3 カウント以内に回答してください。
- 2 個以上の単語を発した場合は次のように処理します。
 - 最初の言葉を言い切ってしまった場合、その最初の言葉を解答と判断する。(例)「ルーズベルト…ニクソン」の場合、「ルーズベルト」を解答とみなし、「ニクソン」は無視する。
 - 最初の言葉を言い切っていない場合、次に言った言葉が解答となる。(例)「ルーズベ…ニクソン」の場合、「ルーズベルト」を途中で止めているので、「ニクソン」と解答したとみなす。

筆記・ボードクイズに関するルール

- 漢字の間違い・外国語の綴りの間違いは誤答と判断します。

- 書かれた文字が著しく判別できない場合、誤答と判断します。
- 特に問題文に指定がない限り、解答は漢字・アルファベット・カタカナ・ひらがなのいずれで行っても構いません。ただし、問題文中に解答方法に対する指定がある場合、その通りに回答しないものは誤答とします。

大会中の抗議について

- 早押しクイズについて、自身が誤答した場合のみ、その誤答した問題の内容や判定についてのみ抗議をすることができます。
- 抗議できるのは、原則その問題の判定が終了してから、次の問題へ移るまでの間です。
 - － ただし、タイムレースのみ、セット終了後に問題を振り返っている最中に抗議することが可能です。
- 抗議できる内容は次の通りです。
 - － 問題文に事実の誤認、もしくは曖昧な記述が存在し、その結果誤答の判定を受けた場合
 - － 自分の解答が問題文の題意を満たすにも関わらず、誤答の判定を受けた場合
 - － 問題文を読む際の読み間違いにより、誤答の判定を受けた場合
 - － 正解と認められる最低限の情報が不当に多く、誤答の判定を受けた場合
- 問題内容にかかわらない、得点表示の間違いなどはいつでも自由に指摘してもらって構いません。
- 抗議回数は、1 ラウンドにつき 1 人 1 回とします。
- 抗議が発生した場合、進行を中断し、スタッフが抗議内容を問い合わせに行きます。そして抗議内容をスタッフで検討した上で、誤答の判定を覆して正解にする、問題を無効にする、判定を覆さないのうちいずれかの判定を下します。